

九州体育・保健体育ネットワーク研究会 2016 ファイナル in 福岡

—新たな時代の保健体育のアウトカムを考える—

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

2 主催／共催／後援

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会
北信越ネットワーク研究会

〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学、佐賀大学、九州共立大学、鹿児島大学

〔後援〕大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会、長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

3 期 日

平成28年3月5日（土） 13:00～17:00（受付：12:30～）

平成28年3月6日（日） 9:00～12:00（受付：8:30～）

4 場 所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

TEL 092-611-1717

5 内 容

【1日目】3月5日（土） ※10:00～準備 12:00～13:00 役員会

12:30 受付

13:00 開会

（代表挨拶）鹿屋体育大学 佐藤 豊

（来賓挨拶）九州体育・保健体育ネットワーク研究会顧問

第1部「授業づくり最前線」進化する小中高の授業づくり

13:00～14:00

- ・大分県小学校体育専科教員 ICT を活用した一事例
岩崎 敬（大分県日田市立三和小学校）
- ・単元構造図の簡素化とその活用
福井 宏和（佐賀県伊万里市立伊万里中学校）
- ・生涯を通してスポーツの振興発展にかかわる資質や能力の育成をめざして
—3年間を見通した体づくり運動の取り組み—
佐藤 若（山形県立山形中央高等学校）
- ・スポーツの価値を基盤とした「価値教育」
JADA（公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構）

第2部「保健体育授業づくりシンポジウム」 「保健と体育の充実に向けた教育課程の可能性」

14:00～16:30

パネリスト

菊 幸一

筑波大学大学院 教授

森 良一

国立教育政策研究所 教育課程調査官

高橋 修一

国立教育政策研究所 教育課程調査官

コーディネーター

佐藤 豊

鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系

指定討論者

藤田 弘美（福岡県立育徳館中学校 教頭、中央教育

審議会教育課程部会体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループ委員）

16:30～16:45 事務連絡（総会・会計報告）

16:45 終了

18:00 情報交換会（福岡市内）

【2日目】3月6日（日）

8:30 受付

「ポスターセッション」大学、学校、行政の情報を共有する

9:00～10:15

- ・全国学校体育研究大会広島大会の開催から学んだこと
広島県教育委員会事務局 教育部 スポーツ振興課 学校体育係 清田美紀
- ・小学校教員の資質能力について～大学生の体育授業に対する印象から～
佐賀大学大学院 富永正幸、佐賀大学 堤公一、栗原 淳
- ・佐賀県における実態を踏まえた交通安全教育に関する一考察
佐賀大学大学院 内田幹一、佐賀大学 堤公一、栗原 淳
- ・運動に親しみ 進んで取り組む児童の育成
沖縄県うるま市立南原小学校 大門真也
- ・運動の楽しさを味わい進んで学び合う子の育成
沖縄県豊見城市立とよみ小学校 片桐功
- ・心と体を一体として捉える保健体育学習の充実
沖縄県那覇市立小祿中学校 砂川龍馬
- ・思考力・判断力を育む表現運動の指導の工夫
沖縄県那覇市立真地小学校 山里拓哉
- ・運動の楽しさを味わいながら、技能を身に付けていく授業を目指して
ーオノマトペの効果的な活用と場や用具の使い方の充実を図った授業実践を通してー
宮城県名取市立下増田小学校 及川清太郎
- ・中学保健学習における「思考・判断」に注目した指導と評価の実践事例
東京国際大学 木原慎介
- ・教職大学院における現職教員とストレートマスターのコラボレーション授業について（経過報告）
ー単元構造図を利用した特別支援学校の体育科授業を通してー
福岡教育大学大学院 教職実践専攻（教職大学院） 青木 哲也
- ・段ボールラケットで広がる学びの可能性ー小学校でも攻守一体タイプのネット型をー
宮崎県宮崎市立清武小学校 村中田 博
- ・改良版剣道授業用教具（簡易竹刀）の実践活用報告
福岡教育大学 本多 壮太郎
- ・長崎県教育庁体育保健課学校体育班の事業
長崎県教育庁体育保健課 佐伯 直也
- ・民間企業と連携した体力向上ー燕市と株式会社ミズノの連携ー
新潟県燕市教育委員会 長谷川 智
- ・学校体育における剣道の授業づくりに関する研究：戦術学習モデルを適用した単位教材の作成
茨城大学大学院教育学研究科 飯島悠輔、金川瑞希、茨城大学教育学部 吉野 聡

- ・動くイメージを明確にして動きを高めさせる学習指導 ―動く感覚をつかむ観点の焦点化―
鹿兒島大学教育学部附属小学校 須藤 信司、當房 省吾、阿部 大亮、池田 克則
- ・小学校体育活動推進校 ―児童の体力・運動能力向上―
宮崎県教育庁スポーツ振興課 萩尾 英司
- ・現職研修における単元構造図の活用について ―10年経過研修（短期）の事例から―
清水 将（岩手大学）
- ・北海道・東北体育・保健体育ネットワーク研究会 平成27年度活動報告
佐々木 美奈子（大崎市立下伊場野小学校）、清水 将（岩手大学）
- ・子どもの体力向上を図る組織的な取組に関する一考察
新田 聖（大野城市立御笠の森小学校）
- ・球技の特性や魅力を味わう生徒を育む保健体育科学習指導
―生徒の課題意識がつながる単元づくりをとおして―
藤波 宏幸（福岡県立小倉南高等学校）
- ・なぎなたの授業における導入教材の検討
鹿屋体育大学（学生） 柴田 真子
- ・体育授業における態度の指導方法と観点別評価についての一考察
鹿屋体育大学（学生） 福田 裕隆
- ・アクティブラーニングを活用した保健体育授業（剣道授業）の有効性の検討
鹿屋体育大学（学生） 松永 武人
- ・暗黙知を具体化し理解を深めるハードル走の指導内容検討
鹿屋体育大学（学生） 本山 さゆり
- ・実践的指導力を育む教育実習に向けた教科教育の取り組み
―単元構造図、校内模擬授業、中学校演習、ビデオ省察のサイクルから―
鹿屋体育大学 佐藤 豊、梶 ちか子
- ・中学校体育で武道の授業に悩んでいる先生に向けて
―相撲の授業づくりをしてみませんか―
北海道教育大学 旭川校 小出 高義

<ブース展示>

- ・柴田 一浩 剣道簡易竹刀の開発展示
- ・JADA スポーツの価値教育情報コーナー
- ・体づくり運動アプリタブレット体験コーナー

第3部「海外から学ぶ・九州から発信する～学校体育の充実に向けて～」

10:30～11:30 チンウエイ・チャン 台湾師範大学准教授・博士
台湾スポーツ教育学会 国際交流委員長、Aiesep 理事
通訳 本多壮太郎(福岡教育大学)、吉野聡(茨城大学)

11:30 全体意見交換・アンケート記入等

12:00 終了 ※その後、片付け

6 資料代（紀要）

1,000円

※九州ネットワークの会費については、平成27年度会費未納入者のみ徴収します。

7 参加申込

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。
なお、2月26日(金)までにお申し込みください。(携帯からのアクセスも可)

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000Q00002079KHS>

携帯からの参加

申込はこちらから

申し込み画面にジャンプします。

*ポスター発表をしていただける方は、備考欄に、
「ポスター発表希望(発表タイトル、氏名)」をご記入下さい。
要項原稿の作成がありますので、2月1日(月)までに原稿を
事務局：柗(かこい) <chichicaco@ninus.ocn.ne.jp>まで
送信してください。

***別添ポスター作成見本を参照してください。**



8 その他

- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。(非常に取りにくくなっています。)
- ◆ 情報交換会は福岡市内(博多駅前のHクリオコートを予定)で実施します。(5,000円程度)
なお、準備の関係上、研究会と情報交換会を併せて参加の有無をお知らせください。
- ◆ 実践発表(ポスター)を希望される方は、2月1日(月)までに申し込みサイトから
エントリーをし、原稿を送付してください。
学校現場実践、大学生等ポスターセッションにおける発表が可能です。学会ではありません
ので、既発表のものも可能です。研究や実践の成果を広くご発表下さい。

9 問合せ/連絡先

事務局：国立大学法人鹿屋体育大学 教授 佐藤 豊 研究室内

担当：柗 ちか子 (090-9090-0047, chichicaco@ninus.ocn.ne.jp)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
TEL 0994-46-4988

10 会場案内



バス

JR博多駅 バスターミナル14番乗り場から
37, 39, 39-Bのバス・・・約20分
(月隈団地経由) (アクシオン福岡前下車)
福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から
37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR博多駅から・・・約20分
都市高速道路利用の場合
福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・
約6分
太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・
約9分